

### ■SGHとは？

グローバル化が進む中、国際的に活躍できる将来のグローバルリーダーを育てるため、文科省が全国で123校を指定。社会課題に対する関心や深い教養、英語を含めたコミュニケーション能力、問題解決力など、国際的素養の習得を目指しています。各指定校は、グローバルな社会課題について生徒が取り組む「課題研究」や、その研究を深めるための海外や国内での研修、また、海外の高校生・大学生との交流やディスカッションを実施、課題解決力や英語によるコミュニケーション力の向上などに取り組んでいます。

### ■平野校舎でのプログラム

本校では、「多面的に”いのち”を考えるグローバルリーダーの育成」をテーマにして、生徒たちが「医療・保健」「防災・減災」「格差・貧困」の研究領域から1つ選択して研究に取り組みます。特に、1年生では大阪や日本における課題を、2年生ではアジアをフィールドに広げて研究・調査を行います。

- 医療・保健 ～いのちをつなぐ～ 医療技術の科学・技術的問題だけでなく、海外や日本の医療・保健制度に関わる幅広い課題に取り組む。医療の道を進む人にも将来役立つものです研究。
- 防災・減災 ～いのちを守る～ 自然災害の現象や対策の理学・工学的側面や、行政・民間・地域が取り組む施策・活動などの行政・社会的側面など、幅広い視点からの研究。
- 格差・貧困 ～いのちを支える～ 日本や外国の問題を捉えながら、行政・諸団体が行う施策や、企業の社会貢献などを研究。改善に向けた生徒の提案・実践を期待している。

### ■様々な取り組み

「課題研究」は1,2年生を中心に行い、3つの研究領域について大阪大学や京都大学、関西学院大学の先生方、民間企業や行政等の専門家の方にも指導をいただいています。また、英語で議論する力を高めるため、英語の一部の授業では「即興型英語ディベート」を実施、外部指導者・外国人指導者等も加わって指導しています。

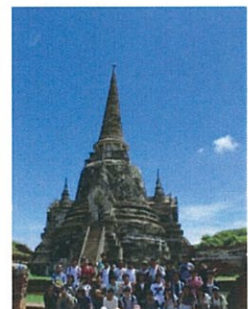
<1年> 生徒は、これらの先生方の講義や、チームビルディング、フィールドワークや調査等の学習をした後、設定した研究テーマごとに現地視察や調査を行い情報収集します。さらに文献調査や専門家の先生方からの指導を得ながら研究を深め、研究成果の発表や論文作成などに取り組みます。

<2年> フィールドをアジアに広げ、さらに深い研究を行います。7月には全員で海外研修旅行(タイ)に行き、現地で視察・調査を行います。また、国内でも、研究に関わる国際会議や高校生の会議に参加します。研究成果は大阪大学や大阪市立大学はじめ、いろいろな場で発表します。

<3年> 研究成果を日本語や英語(外国人教師が指導)の論文としてまとめます。



京都大学 藤井聡教授(本校13期)の講義



タイへの研修旅行(2年全員)



高校生平和大使大阪代表として欧州  
国連本部で平和へのスピーチ



母子手帳国際会議に出席(東京)



世界津波の日「高校生サミット世界大会」に参加



カナダ・ペクトリアでの語学研修